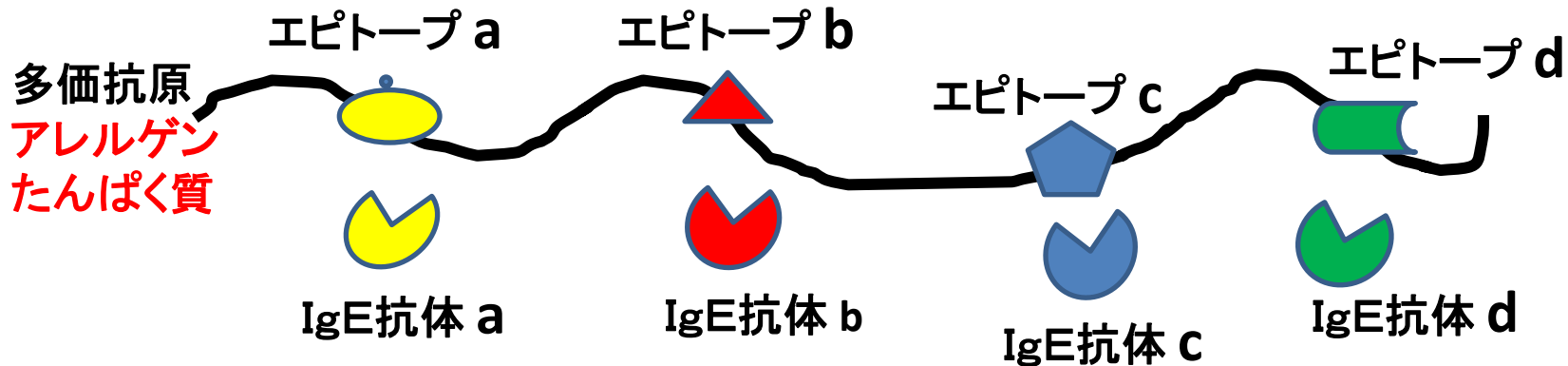


# 図1 アレルゲン(抗原)と特異的IgE抗体のエピトープ

\* エピトープ・・・IgE抗体の認識(結合)部位・(アミノ酸5～8残基のペプチド部位)



## アレルゲンたんぱく質の性質

アミノ酸がほぼ30個以上繋がっている(最小分子量3,000以上)たんぱく質に相当する。アレルゲン上には複数のエピトープ(エピトープ部位はアミノ酸5～8個のペプチド)が存在し、これに対応した複数のIgE抗体(ポリクローナル抗体)が産生される。肥満細胞上の異なるIgE抗体間で架橋が成立すると、情報が細胞内に伝わり、脱顆粒や起炎症性化学物質の放出により炎症が起こる。